

一般質問

ゆめトピア長船について

これまでの経緯： =====

平成 30 年に計画が出され、耐震のない長船町公民館・支所・長船消防署について、消防署は新築、公民館と支所は保健福祉部仮庁舎を新築する計画から始まったのが、今回の庁舎再編です。

H30.7.17 1,175 名もの長船町公民館の存続を求める署名要望書が市民から提出されました。市の回答は、現在の長船町公民館は避難所としては適切でないことがわかっている以上、現状のまま利用することは不相当と考えていますというものでした。

H30.8.9 長船地区を対象に、説明会が開催されました。住民は、ゆめトピア長船に仮庁舎が新設されるということで、泣く泣くあきらめた経緯があります。それが、2 年もたたないうちに、今後変わる予定はない！はずだった計画が、保健福祉部仮庁舎を再検討して邑久の本庁舎へ統合する案が提出されました。これに対し、5 月 1,209 名ものゆめトピア長船に保健福祉センターの存続を求める要望書が市民から提出されました。

そんなことはおかまいなしに、庁舎再編はどんどん進み、消防長船分駐所は完成移転し、長船支所も新築移転し、本庁舎西棟改修も完了しこども・健康部も移転しました。

あと残っているのは、現在工事中のゆめトピア長船を改修して長船町公民館が移転するところと、こどもパークがゆめトピア長船に出来るということです。

=====

今回の私の一般質問に対して初めて、長船町公民館の跡地活用が明かされました。長船町公民館は、隣の旧長船分駐所・旧教員住宅と併せて 7 千㎡の敷地です。

市は、現状保育園・こども園の希望園の入園がかなわないケースが増加しており、特に、長船町地域でその傾向が顕著であることから、早急な教育、保育施設の整備が必要であるとし、公民館跡地の一部を利用して民間のこども園の誘致ができればと考えているというものでした。

あの場所にこども園が出来ること自体は、歓迎です。ただ、今までの経緯を考えると、

1. 長船町公民館の解体および、跡地活用について住民にしっかり説明すること。
2. こども園を誘致するのであれば、公立にすること。
3. 福里地域の住民の防災の機能を有すること。
4. 跡地活用が決定するまで、解体をしないこと。

これだけは、絶対に譲れない！と考えます。ぜひ、皆さまの後押しをお願いします。

1. は、当たり前のことです。
2. は、あの場所は福里・国府地区の人々の何かあった時には助けになる防災の拠点となる場所です。そこは公営の場所であるべきです。でないとなにかあった時の助けになりません。また、私はずっと言い続けていますが、老朽化してトイレすら直してもらえない長船東保育園の代わりの施設であるべきです。
3. は、これまたずっと言い続けていますが、過去 3 度も大変な浸水の経験をしている住民の防災拠点となる場所でなくてはならない！と考えています。
4. は、跡地活用を早急に決定していただくことが最優先ではありますが、活用が決まるまでは解体しないでいただきたいと思います。更地では何の助けにもなりません。

行政 NEWS

とっしん

vol
44

目には若葉、本当にさわやかな季節になりました。

私は、3 期目の 11 年目最後となる予算議会（2 月議会）を終えました。

今議会は、一年の予算を審議する大切な議会です。

予算につきましては、後ほど説明させていただいておりますので、お読みください。

今後も、しっかり取り組んでまいります。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。

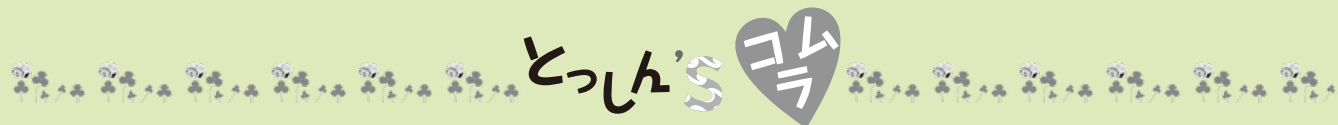
引き続き力強いご支援の程、よろしくお願いします。

地元【多賀神社】

今回の一般質問は

1. ゆめトピア長船について
2. 子育て支援について
3. 第 2 宮下産業団地について

を取り上げさせていただきました。



磯上は、令和 5 年度の【歴史文化保存・活用支援事業補助金】に採択されました。

今回は、湯次神社からりゅうごん様・旗振り台に説明を施しマップを作って気軽にウォーキングが出来るようにしました。

登りがけの急な斜面も擬木の階段を設置し、断然登りやすくなりましたので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

りゅうごん様は、日本 3 大龍穴のひとつである、『備前の龍穴』ではないかといわれています。日照りの時、和紙で作った巨大な傘鉾をこの岩の上に掲げると、岩に宿っている龍が傘を破るために大雨を降らせたという言い伝えがあります。

今年は、辰年！ぜひ、伝説の龍が宿る岩を見に足をお運びください。



令和 6 年 4 月 22 日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上 569

TEL/FAX 0869-26-6420

携帯 TEL 090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



行政報告

海外支援金について

瀬戸内市は、今年もふるさと納税に返礼品を返し、残ったお金をUHNCRを通して海外支援します。反対は、一年目は私と八日市の竹原議員の二人だけでしたが、去年からは仲間が増え長浜の原野議員と鹿忍の木下議員が修正案を提出してくれました。

今回も昨年以上に、そのやり方についてどうしても納得が出来ません。このおかしな寄附を続ける限り、反対したいと思います。みなさんの意見も、どうぞお聞かせください。

くさかとしこの主張：－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊

海外支援金には、3点の理由で反対です。

①つめに、今回のやり方です。

瀬戸内市は、ふるさと納税制度を活用して、ウクライナをはじめとする世界各地の難民支援のために国連UNHCR協会を通じてUNHCRに寄附します。

令和4年4月25日、国会で立憲民主党の古賀之士参議院議員が行政監視委員会で質問されています。ふるさと納税制度の本来の趣旨にどこまで合致しているのかと疑問を投げかけられています。このことでもわかるように、国会で問題になるようなやり方だということです。アウトではないのはわかりますが、これはかぎりなくグレーだということも明らかです。

②つめは、この支援金をずっと続けるということです。

このかぎりなくグレーなやり方をずっと続け、瀬戸内市はふるさと納税で返礼品を返し、残った寄附金を海外に寄附している自治体として日本中にその名前が知れ渡るわけです。残念でなりません。

③つ目は、とうてい市民の理解がえられないのではないかと思います。

私たち議員は、市民の声の代弁者です。市民の声を行政に届けるのが仕事です。同世代の友達に聞いても、地域のお年寄りに聞いても寄附を寄附することに理解は得られません。二元代表制の議会で、議会が認めたら市民が認めたことになるのでしょうか、やはり市民の声を無視することはできないと判断しました。

寄附金は、個人の自由な意思の上に成り立つものであり、反対の声があれば成立しないものと考えます。

－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊－＊

瀬戸内市は、令和6年度から、【瀬戸内市ふるさと団体応援寄附金】なるものを開始しました。ふるさと納税を活用し、市内活動団体の活動資金調達を支援する制度です。

本来は団体への支援は、補助金であり事業補助のはずです。しかしこの制度は、団体に対する寄附金で手続きを簡単にし、領収書の提出もいらず、次年度への繰り越しも自由な極めて使い勝手の良いお金となっています。今年度は経費も発生せず、反対すらすることは出来ませんでした。来年に向けてしっかりチェックしたいと思います。

令和6年第2回（2月）定例会 賛否の公表										○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ー：議長職（議長は裁決に加わりません）														
議 案 名		議決 年月日	採決結果	かなえの会			日本共産党 瀬戸内市議団	公明党 瀬戸内市議団		創流クラブ		瀬戸内市民の会				新風					賛 成	反 対		
				秦 井 誠 司	成 本 崇	崑 原 舞	厚 東 晃 央	島 津 幸 枝	河 本 裕 志	川 勝 浩 子	竹 原 幹	日 下 俊 子	小 野 田 光	原 野 健 一	平 原 順 二	木 下 公 文	室 崎 陸 海	廣 田 均	小 谷 和 志	石 原 芳 高			岩 田 恵 一	
議案第16号	令和5年度瀬戸内市一般会計補正予算（第10号）に対する修正案について	R6.3.4	否 決	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	○	●	●	ー	●	●	4	13	
	令和5年度瀬戸内市一般会計補正予算（第10号）	R6.3.4	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	ー	○	○	13	4	

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。
当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。

瀬戸内市の家計簿！ （一般会計）	一般会計：234.9 億円 ～合併後最大規模予算 7.5 億貯金繰入～ 特別・事業会計：183.5 億円
---------------------	--

必見

今年の地方交付税は、4.3%増の、**50.6 億円**
市債が**28.3 億円**
そのうち
財政調整基金の取り崩しが、**7.5 億円**

今回の予算の中で大きなものは

・JR3 駅の整備に	約2 億 3 千万円
・庁舎再編に	約5 億円
・火葬場整備に	約5 億 3 千万円
・幼稚園・小中学校整備（トイレ洋式化）に	約1 億 8 千万円
・小中給食費無料・軽減に	約1 億 3 千万円
・スポーツ公園整備（邑久・長船）	約1 億 2 千万円
・こども医療費無料に	約2 億円
・ゆめとびあ長船にこどもパーク整備に	約3 億 4 千万円
・0～2 歳児向け育児用品の購入費助成（拡充）に	約2 千700万円
・備前長船刀剣博物館 駐車場整備に	約7 千万円
・地域ビジネスセンター整備に	約5 千万円
・伝統工芸を活用した備前市連携事業に	約9 千万円
・有害鳥獣対策に	約4 千万円
・市道開田線（村田製作所から福元）等市道整備に	約3 億円
・第2 宮下産業団地整備に	約1 億 4 千万円
・市営住宅整備に	約1 億円
・公共交通（既存6 路線＋東備バス廃止に伴う市営バス化）に	約1 億 2 千万 etc..

詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、そちらもご覧下さい。

収入	給料	（億円）	令和5年度	令和6年度
	基本給（市税）		56.6 (24.6%)	55.5 (23.6%)
支出	諸手当（地方交付税など）		61.3 (26.6%)	65.3 (27.8%)
	奨学金、助成金（国・県支出金）		35.4 (15.4%)	38.6 (16.4%)
	ローンの借入金（市債）		30.9 (13.4%)	28.3 (12.1%)
	パート収入など（その他）		46.2 (20.0%)	47.2 (20.1%)
合計			230.4億円	234.9億円

支出	家族の医療費、保育料など（扶助費）	令和5年度	令和6年度
	車や家電製品の購入費など（普通建設事業費）	31.4 (13.6%)	31.7 (13.5%)
	食費（人件費）	47.9 (20.8%)	43.2 (18.4%)
	光熱費、水道代、通信費、家賃など（物件費）	40.5 (17.6%)	42.6 (18.1%)
	ローンの返済（公債費）	31.9 (13.8%)	33.8 (14.4%)
	子どもへの仕送り（繰出金）	19.1 (8.3%)	17.7 (7.5%)
	子どもへの仕送り（繰入金）	18.3 (7.9%)	18.3 (7.8%)
	その他（補助費など、その他）	41.3 (18.0%)	47.6 (20.3%)
合計		230.4億円	234.9億円